

自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 川崎重工業(株)明石工場

1 環境保全活動に関する方針等

1-1 環境保全活動に関する方針

基本方針

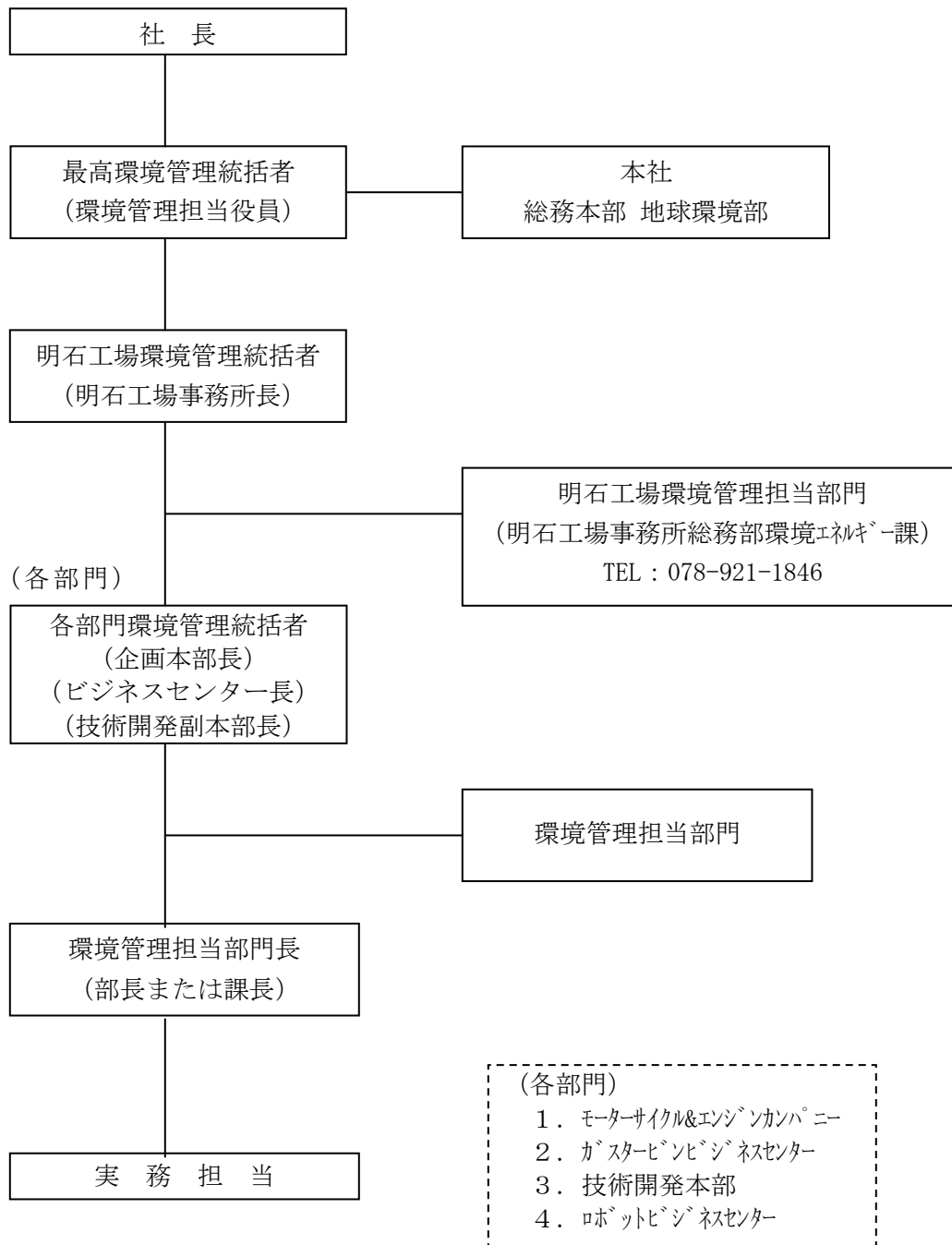
川崎重工グループは「ものづくり」を通じて社会の発展に寄与することを基本に据え、「陸・海・空にわたる基礎産業企業」としてグローバルに事業を展開する中で、地球環境問題の解決を図るため、「低炭素社会の実現」、「循環型社会の実現」および「自然共生社会の実現」を目指し、環境に調和した事業活動と地球環境に配慮した自社製品・サービスを通じて、社会の「持続可能な発展」に貢献します。

目標・計画・実施状況の公表方法

川崎重工の環境ならびに社会活動を広くステークホルダーにお伝えするために、1999年から毎年発行している「Kawasaki Report (旧・CSR報告書、旧・環境/社会報告書)」にて公表し、当社ホームページにも掲載しています。

(目標・計画等の公表の方法についても記載すること)

1 - 2 環境保全活動に関する組織体制



2 環境保全活動の実施状況等

項目	取組結果	今後の取組計画
化学物質対策	1. 有害化学物質の削減 ・代替化検討による有害化学物質の削減 ・PRTR法届出物質の排出/移動量の把握 2. PCB機器の適正保管と適正処理	・生産工程での有害化学物質の削減
エネルギー対策	1. エネルギー使用量の削減/CO2排出量の削減 ・省エネ設備の導入 ・エネルギー使用量の見える化推進 ・明石工場省エネ委員会活動の推進 ・輸送エネルギーの削減 ・省エネパトロールの実施	・2015年度までに、年間のエネルギーコスト及びCO ₂ 排出量を5%以上削減
廃棄物対策	1. 廃棄物排出量の削減 ・分別の徹底とゼロエミッションの維持向上 ・省資源/リサイクルの推進	・省資源、3Rの推進 ・電子マニフェスト導入の促進
グリーン調達	1. 製品含有環境負荷物質の廃止/削減 ・欧州REACH規制対応推進中	・法規制対応の徹底 (RoHS指令、REACH規制等)
環境教育	1. IT活用による環境教育の推進 ・環境e-ラーニングの実施 2. 環境啓発活動の継続 ・従業員へ講義形式による環境教育を実施 ・環境ニュース発行、環境月間行事の実施等	・従業員への環境教育、啓発活動の推進
地域社会への参画	1. 地域、行政等の環境活動への参加 ・工場周辺の清掃活動 (年3回) ・環境フォーラム、セミナーへの出席 (24回)	・地域社会への環境貢献
環境コミュニケーション	1. 環境情報の公開 ・かわさきレポート2～3P 7月中 CSR報告書の発行 H26 (電子版：ホームページに2013年版 Kawasaki Report環境情報詳細版を掲示)	・社内外への環境情報の発信

事業所名 川崎重工業株式会社 明石工場

環境保全対策の実施状況（大気、水質関係）

項 目			協定値	実績値	備 考
大気関係	窒素酸化物総排出量		t /年	22.0	9.5
	総排水量 (m ³ /日)		通常	2,916	706
水質関係	pH		最大	3,861	1,134
			最大	8.6	7.9
	COD		最小	5.8	6.5
			通常	20	2
	COD	負荷量 (kg/日)	最大	27	3
			日間平均	—	—
		排水口1濃度 (mg/L)	最大	24	—
			日間平均	—	3.4
		排水口2濃度 (mg/L)	最大	24	4.9
			通常	19	1
	SS	負荷量 (kg/日)	最大	24	1
			日間平均	—	—
		排水口1濃度 (mg/L)	最大	34	—
			日間平均	—	1.0
		排水口2濃度 (mg/L)	最大	34	2.0
			通常	5	0.4
	n-Hex	負荷量 (kg/日)	最大	6	0.4
			日間平均	—	—
排水口1濃度 (mg/L)		最大	2	—	
		日間平均	—	0.5	
排水口2濃度 (mg/L)		最大	2	0.5	
		通常	—	—	
(備考)					

※排水口が複数ある場合には、水質関係各濃度を上段、中段、下段に分けて記入すること。
 ※協定書及び協定細目書等に規定する項目のうち、協定値の定まっているものについて記入すること。
 ※特記事項は備考欄に記入すること。